

祝 関東大会出場おめでとうございます

7月に行われた中学校総合体育大会の県予選を見事勝ち抜き、その後開催された関東大会に出場した市内中学校の生徒をご紹介します。

個人戦としては、矢板中学校から陸上競技部、柔道部、ソフトテニス部に所属する生徒が出場しました。また、団体戦としては同中学校の体操競技部男子(4年連続)・女子(6年連続)、相撲部が出場しました。

矢板中学校の陸上競技部で、四種競技に出場した飯塚さんは「目標としていた入賞には届かなかったが、全力を出し切ることができて満足している。高校生になっても競技を続け、さらに実力をつけていきたい」と感想を話してくれました。



陸上競技【四種競技】(矢板中) 飯塚 康太(3年) 8月9日(火)、10日(水) 第50回関東中学校陸上競技大会



陸上競技【100メートル】(矢板中) 金子 平和(2年) 8月10日(水) 第50回関東中学校陸上競技大会



体操競技・男子(矢板中・4年連続) (左から) 服部 樹直(2年)、藤原 大和(3年)、田代 悠莉(1年)、猪瀬 隼生(2年) 8月5日(金)、6日(土) 第53回関東中学校体操競技大会



体操競技・女子(矢板中・6年連続) (左上) 手塚 心美(1年)、(左下) 渡邊 花穂(3年)、(右上) 渡邊 遙(2年)、(右下) 三嶋 乃慧(3年) 8月5日(金)、6日(土) 第53回関東中学校体操競技大会



柔道(矢板中) 佐藤 香凛(3年) 8月9日(火) 第47回関東中学校柔道大会



ソフトテニス【ペア】(矢板中) (左から) 阿美 侑汰(2年)、上山 空希(2年) 8月9日(火)、10日(水) 第52回関東中学校ソフトテニス大会



相撲【団体】(矢板中) (左から) 石川 大凱(2年)、館脇 大珠(3年)、深津 彰音(3年)、鈴木 創磨(2年) 8月6日(土) 第46回関東中学校相撲大会

7/17(日) 親子で楽しく自転車教室

片岡公民館で、自転車ロードレースチーム「宇都宮ブリッツェン」の西村選手と貝原選手を講師に招き、自転車安全教室が開催されました。これは、同公民館が主催する家庭教育学級「ちびにこ」講座の一環として行われたもので、参加者は交通ルール・マナーに関する講話を受講後、自転車を安全に乗るための実技演習を行いました。

教室終了後、選手からサインをもらった子どもたちは、「自転車の乗り方を楽しく教えてもらった。今日学んだことを意識して安全に自転車に乗りたい」と話していました。



7/22(金) 市の文化発展のために

市役所で、令和元年に亡くなられた書家 柿沼 翠流氏の書「今生きてますか」と「一笑」の寄贈式が行われ、市役所内に展示されました。平成22年に揮毫されたこの書は、翠流氏の数多くの作品の中でも代表作で、ご家族が本市の文化発展のため、多くの市民の方に見てほしいと寄贈したものです。

息子の正さんは「父に関わってくださった全ての人に感謝します。市民の皆さんに見ていただき、生きるための何かのお役に立てば父も喜ぶと思います」と話されました。



▲作品の展示場所 ・「今生きてますか」 市役所本庁舎 市長公室 ※公務で使用している場合はご覧いただけません。 ・「一笑」 生涯学習館 ロビー

7/29(金) 地域に咲く、笑顔の花

市自治公民館連絡協議会による「令和4年度花いっぱいコンクール」の審査会が開かれました。この活動は、花を育てることで地域の連帯感を深め、さらに花で地域を美しく彩る意識を高めてもらうことを目的に行われています。今回参加した自治公民館13館の花壇にはマリーゴールドやカンナなどの夏を代表する色鮮やかな花が植栽され、見る人の表情や心を和やかにさせてくれています。

最優秀賞は、情熱的な赤色が目を引くサルビアで、館内およびその周辺が彩られた大槻公民館が選ばれました。



【最優秀賞】 ・大槻(写真) 【優秀賞】 ・東町 ・乙畑 【努力賞】 ・第一農場 ・沢 ・ハッピーハイランド矢板

7/31(日) SNS活用で情報伝達訓練

矢板消防署のほか市内各所で、市消防団による情報伝達訓練ならびに災害対策訓練が実施されました。これは、移動系防災行政無線やSNSにより、リアルタイムで消防団員から集められた各地の被害情報を、市の災害対策本部と共有し、避難誘導や交通規制、被害箇所の応急対応などに有効活用することを目的とした訓練です。

参加した団員は「地元の土地勘については自信がある。有事の際は、SNSを活用して正確で迅速な情報発信をしたい」と話しました。



8/3(水) 建設業陸会、感謝を込めて

内川周辺や矢板南工業団地内などで、市建設業陸会およそ50人が参加して草刈りが行われました。この活動は、市内建設事業者の有志で構成される同会会員23社が協力し、地域に貢献したいという想いで毎年実施しているものです。

萩原会長は、「いつもお世話になっている地域の方たちに、自分たちの得意とする分野で恩返しができる大変うれしい。今後も継続し、奉仕作業でも安心安全なまちづくりに貢献していきたい」と話してくれました。

